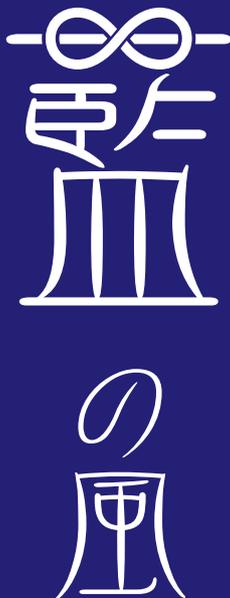


Contents

- 1p 新年度に向けての課題と抱負
 2p Garden 藍 I・II 移転報告
 2p 若林から松陰神社へ…
 移転後のメンバーさんの生活
 4p 浅草「てしごと」展報告
 6p アンシェーヌ藍報告
 ～この1年を振り返って～
 7p 退職、異動のご挨拶
 8p 新人さん紹介
 8p 定例会議の報告



第2号

2017年6月1日

編集発行責任者：社会福祉法人「藍」

〒154-0023

東京都世田谷区若林 5-2-9 三喜ビル

TEL：03-3412-1366 FAX：03-3412-1364

新年度に向けての課題と抱負

～制度改革と社会福祉法人藍への影響及び本年度取り組みたいこと～

社会福祉法人藍 理事長 大野圭介



の開花とともに新年度が訪れました。日ごろより社会福祉法人藍をご支援いただき、誠にありがとうございます。

新年度とともに平成29年4月1日より改正社会福祉法が施行されました。この法改正により、下記の改革がなされようとしております。

- ① 経営組織の在り方の見直し(ガバナンスの強化)
- ② 事業運営の透明性の向上
- ③ 適正かつ公正な支出管理(財務規律の強化)
- ④ 地域における公益的な取組を実施する責務
- ⑤ 内部留保の明確化と福祉サービスへの再投下
- ⑥ 行政の関与の在り方

この法改正が成された背景には、社会福祉法人に「過剰な内部留保(利益剰余金)が蓄えられている」などと批判があったことから始まり、公益性・非営利性の徹底、国民に対する説明責任、地域社会への貢献を柱として施行されました。

⑤の内部留保金に関しては一部の大きな法人にはありえますが、その他多数の弱小法人には内部留保するだけの余裕はないので当法人には当てはまりませんが、上記①②③に関しては国の指針に従い、今

まで以上にきっちりとやっていかねばと改めて思います。

■ 地域貢献として「子供食堂」の運用へのチャレンジ

④の地域における公益的な取り組みとは、社会福祉事業・公益事業を行うにあたって日常生活・社会生活上の支援を必要とする者に対して無料・低額な料金でサービスを提供することを要件としていて、今回の改正の中で最も重要な取り組みなのではないかと思っております。当法人で地域貢献の為に今何ができるかいろいろと考えましたが、今年度は地域で孤食している子供たちを集めて、みんなで楽しく食事をできる場所として「子供食堂」を開催したいと考えています。

■ 特定相談支援事業所の実現

そして、これは地域貢献事業ではありませんが、新たな社会福祉事業として当法人では、今年度、特定相談支援事業所を立ち上げたいと思っています。障害福祉サービスを利用するためには「サービス

等利用計画」を区に提出する必要があります。サービス等利用計画とは、障害のある方のロードマップのようなもので、その方がどのようなところに住みたいか、どのようなところで働きたいか、どのような暮らしをしたいか、どのような援助を望んでいるか等、その人が希望する暮らしの実現や生活の中で困っていることを解決するための計画のことです。

この大事な計画を作成し、多様なネットワークを活用して、計画の実現を目指すのが相談支援事業所であり、言わば障害のある方の応援団長のような役割であると思います。

このように障害のある方が地域で安心して日常生

活を送るうえで必要不可欠の事業所ですが、残念なことに世田谷区内で相談支援事業所数が不足していて現在当法人に在籍しているメンバーもまだ「サービス等利用計画」の作成順番待ちをしている状況ですので、ぜひとも今年度中に「特定相談支援事業所 コンシェルジュ藍」（仮称です。勝手に決めてます）が実現できたらいいなと思っております。

今後益々社会福祉法人の存在意義が問われる時代となってきます。我々社会福祉法人藍は上記の改正を遵守し、より質の高い法人運営を目指していきます。

Garden 藍 I・II 移転報告

昨年8月1日にNPO 藍工房と併合して、当法人に新たに共同生活援助 Garden 藍が加わりました。しかし施設の耐震性に不安(特に Garden 藍 I)があり、どこか適切なところに移転できないものかと考えておりましたが、おりよく松陰神社にしかるべき物件が見つかり、昨年末に無事に Garden 藍 I・II を引越しすることができました。

しかし移転の指定認可を東京都から受けるに至るまではなかなか厳しい道のみでした。パチンコ店の2・3Fということもあり、東京都から騒音は大丈夫なのか、自動火災通報装置は最新のものなのか、浴槽がないので取り付けるように等々、多々ご指摘を受け、もろもろ改修工事をし、世田谷消防署のチェックを受け、膨大な資料を提出し、最終的に東



京都の現地調査をクリアして無事に認可が下りた時は正直とてもほっとしました。

今までの一軒家と違い、それぞれの部屋にバス・トイレが設置されていて独立しており、より一人暮らしに近い環境が整い、自立に向けて安心・快適に過ごせる場ができたことをとても嬉しく思います。

ここに至るまでにたくさんの方々のご支援を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りして心よりお礼申し上げます。(文責：大野圭介)

若林から松陰神社へ…移転後のメンバーさんの生活

Garden 藍は去年の年末に松陰神社の駅前のアクア H2O ビルに移転しました

以前は男性寮と女性寮が別の場所でしたが、移転後は Garden 藍 I が 2 階に女性寮、Garden 藍 II が 3 階で男性寮となり、8 名のメンバーさんが

一緒に生活出来る様になりました。

この 4 月でこの松陰神社の新居に移り 4 ヶ月目に入ります。また、去年の夏に NPO 法人藍工房から社会福祉法人藍への統合が実現し半年以上経ちました。



大きな組織となり初めは組織の形態が違うので戸惑う面もありましたが、今は色々な面で充実し環境が整えられたと感じます。

特に引越しによるメンバーさんの心の変化や成長には日々驚きや感動があります。

一人一人が個性ある部屋作りをしていること、そして自分の部屋や、共有部分の掃除の取り組み。自分の時間の過ごし方、職員や他のメンバーへの思いやりなどそれぞれ個人差はあるものの自立心や協力し合う気持ちが育っているようです。

また、日々の食事はメンバー全員でいただくため、賑やかでお互いの理解を深め合う良い機会でもあります。「週末にこんな映画を観た。」「こんな催しに行ってみた。」「こんな経験をした。」などとお互い週末の過ごし方や普段の仕事の話など会話が弾んでいて微笑ましく見守っています。

そして、3月10日には、全員で浅草へのレクリエーションに行きました。



ブログ、「Garden 藍いきいきライフ」にも書かせていただきましたが、花やしきで遊んだり、天丼を食べたり、ファクトリー藍が浅草で催している展示会に行ったり、甘味処に寄ったりと満喫しました。

また、3月17日には、引越し祝いも兼ねてお披露目会を開催しました。

メンバーさんのご家族、同法人内の職員さん、同法人内のメンバーさんもたくさんいらして下さり盛況でした。司会もメンバーさんが担当し、皆さんの希望で Garden 藍で毎晩行っている「マーチ体操」のお披露目をしたり、メンバーさんの作った歌を合唱したり楽しいパーティーとなりました。お越しくございました皆様に感謝申し上げます。

さて、4月から新しい職員も入り、メンバーの皆さんも張り切っています。

今年度も健康に留意し、皆さんそれぞれが充実した日々を過ごせるようにより良い支援に努め職員一同、一丸となって努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。

(文責：Garden 藍 門馬)

浅草「てしごと」展報告

新たな展示会で新たな作品にチャレンジ

平成 29 年 3 月 7 日から 12 日まで浅草アミューズミュージアム 2 階のイベントスペースにて「てしごと」展を開催いたしました。ご来場頂きました皆様本当にありがとうございました。

■ きっかけはボランティアさんから

この展示会は、私共のボランティアの方から、Factory 藍の人たちにアミューズミュージアムを観てほしいとお話を頂いた事から、この展示会の企画が始まりました。

今までの私共の作品は唯一無二、ただ一つの商品として販売して来ましたが、東京都主催の店舗などで販売する場合にサイズ、素材などの規格を明記す



る事の義務化がスタンダードになってきたこともあり、それに対応する新しい商品の開発が必要になってきていました。また、工賃アップの為に新しい方向性を見出す事も必須になっていました。

この2点を考えるきっかけとして、Factory 藍の知名度のない場所で、今後販売していきたい商品を発表し、どのような評価を受けるかを確認する事が必要だと感じており、その為の場所を探していたこともあり、アミューズミュージアムの環境や場所が、望ましいと思い開催する事となりました。

■ 作品のレベルアップにも挑戦

この展示会用に商品として「素材をワンランクあげる」「もう一歩丁寧に仕上げる」「リピートできるものを作る」「素材を明記できる」を基本とし製作しました。

展示会の告知も Facebook などを使用し、新規顧客の獲得に努めました。

その結果として、売上也目標額を上回る事となり、商品の一部はアミューズミュージアム売店で販売を



して頂ける事になりました。委託先が減少していた事もあり、外国の方が多いこの地域での販売先の獲得はとても嬉しい事でした。

ご来場頂いたお客様の評価は、初めて Factory 藍の商品を目にした方も、以前からご存知の方も、一つ一つの商品の完成度が高く、魅力ある商品だとの声を多く頂きました。

アイテム数の少ない点や、価格の設定、デザイン、商品タグなど、まだまだ課題はありますが、方向性は少し見えて来たように感じます。

来年もアミュージュミュージアムでの展示会を予定しておりますので、今年より一歩進んだ商品をご覧頂ける様に努力したいと思います。

■ 三井ビル藍展 三十数年の歴史に幕

また、毎年7月に開催しておりました、新宿三井ビルでの展示販売会は、三井ビルの改修工事などの都合で開催できなくなり、三十数年の歴史にピリオドを打つ事となりました。

これもまた一つの良い転機と考え、地元の方々との交流を深める為にも、Factory 藍1階で開催する予定で準備を進めております。

今後ともどうぞ応援を宜しくお願い致します。

(文責：Factory 藍 勝田)



アンシェーヌ報告 ~この1年を振り返って~

昨年度、1年間という短い期間でしたがアンシェーヌ藍に店長として所属した振り返りをしてみたいと思います。

アンシェーヌ藍は休憩所や更衣室が無くベランダで着替えるなどのハード面と料理の固定化やマンパワー不足としてのソフト面の問題をかかえていました。

■ 区のコンサルを受け事業改革に着手

藍カフェ&ギャラリーからアンシェーヌ藍にリニューアルして8年目になりますが、年々売上げの伸び悩みがあり昨年度は「世田谷区障害者就労継続支援（B型）事業所の経営コンサルタント事業」を受けて毎月の会議を行っていきました。

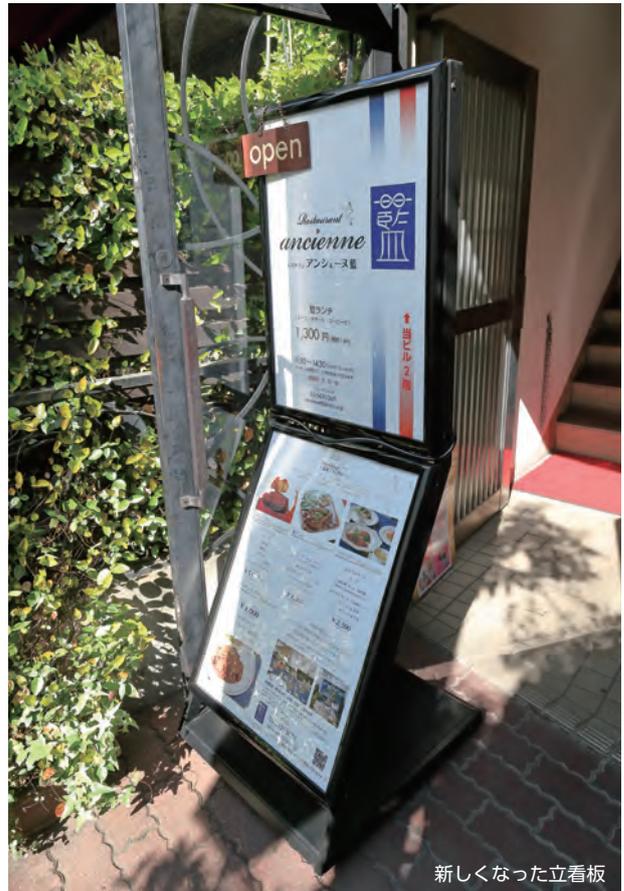
会議を行う中で上がった課題は「売上げの減少」、「サービス力の低下」、「マンパワーの質と量の問題」、「施設設備のハード面の問題」です。

以上の課題に対する改善目標としては「メニューの改善を図る。営業努力をする」「サービスの質を向上して売上げUPを目指す」「人材育成・人材確保に力を入れる」「将来、移転を視野に入れ、アンシェーヌ藍のファンを作る」になります。

その中で昨年度取り組んだアクションとして、設備投資して冷蔵庫を容量の大きなものに変更と同時にグルメサイトに有料掲載や社会福祉法人藍ホームページのリニューアルを行い。また、見やすく目立つ看板を設置と職員とメンバー共同研修として意見交換会や外部の同じような飲食店を行っている障害者就労継続事業所見学を行いサービスの意識の向上を行いました。

■ 徐々に見えてきた効果

成果としては5月から始まった経営コンサルタント事業も9月までは方向性が決まらずに迷走していましたが、10月以降はコンセプトが定まり少しずつではありますが売上げがUPしてきて、2月には当初の目標であった月額100万円の売上げを達成する事ができました。引き続き残った課題として、従業員の人材育成、新メニューの開発、マンパワー



新しくなった立看板



見学に伺った施設



リニューアルしたホームページ



旗も新しくなりました

の確保、ハード面の充実とサービスの質の向上があります。

今年度（平成 29 年度）としては新規顧客獲得に向けて新メニューの開発にコンサートやイベント（ギャラリー等）を多く行い、お客様が飽きないようするのとアンシェーヌ藍を知ってもらうための情報発信を行っていかねばなりません。



ブラインドは黒から青に

社会福祉法人藍の理念でもある「利用者の経済的自立を目指す」が現実になる為にも高い工賃をお渡しし、アンシェーヌ藍で働くことへの誇りを持ち続けられるように努めていきます。

何とぞ今後とも一層のご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

（文責：経塚 章寛）

退職、異動のご挨拶

お世話になりました。
皆様のご活躍をお祈りします。

Garden 藍Ⅲ 森 万里子

平成 20 年の 4 月に NPO 藍工房に入職し、グループホーム藍工房ハウスの世話人、昨年度にその藍工房ハウスが社会福祉法人藍へ事業が移行され、グループホーム Garden 藍となり Garden 藍Ⅲの世話人として勤務して参りましたが、この度一身上の都合により退職することになりました

精神保健福祉士の資格を取りたてでまだ右も左も分からない時に、前理事長の竹ノ内さん、私の直属の上司であった武井さんをはじめ先輩や同僚の皆様のおかげで仕事をすることができました。そして何よりも利用者の皆様と、関わっていく中で職員として人として育てて頂いたように感じます。

最後になりましたが、皆様のご活躍をお祈り申し上げます。これまで本当にありがとうございました。

ガーデン藍でも頑張ります。

Garden 藍 経塚 章寛

このたび、4 月 1 日付けにてアンシェーヌ藍からガーデン藍Ⅰ・Ⅱのサービス管理責任者に異動してまいりました。経塚章寛です。

過去に高齢者福祉施設等や知的障害者就労継続支援事業所で働いていました。

グループホームの経験はありませんが今までの経験を最大限に生かしながら利用者職員と一緒に社会福祉法人としてのコンプライアンスを考えながら今までの良さや楽しさを生かしながら更に質の良いサービスを提供できるよう努力していきます。

また、商店街にも近いという事で地域のネットワークと協力して利用者の方が生活しやすい環境づくりを行っていききたいと思います。

まだまだ至らない点が多いと思いますが今後ともよろしく願いいたします。



ご寄付・ご支援をお願い申し上げます

本部事務局

社会福祉法人藍では、障害者福祉に関心のある皆様、法人・団体の皆様からの寄付金を幅広くお受けしたいと思っております。

私たちが行う社会福祉事業は、国・地方自治体からの補助金によって実施されていますが、移転や新規事業に取り組みたいと思っており移転・開設資金として、支援していただける皆様の寄付金を財源にして、一人ひとりの夢の実現を目指したいと考えています。多くの皆様のご支援、ご援助を心からお願い申し上げます。

ご協力いただける場合は同封の用紙をご利用ください。



定例会議の報告

3月22日に社会福祉法人藍の理事会、並びに評議員会が開かれました。その御報告をいたします。

社会福祉法人藍

第58回評議員会・第68回理事会

開催日時：平成29年3月22日（水）
17:30～19:30

開催場所：アンシェーヌ藍

共同生活援助部門が統合されてはじめての年度末の役員会であり、議案については下記の通り、予算と次年度の事業計画について話し合われた後に社会福祉法改正に伴う経理規程の改定と岡部理事の退任（評議員へ移行）について決議がされた。

- 第一号議案 平成28年度補正予算の編成
- 第二号議案 平成29年度予算の編成
- 第三号議案 平成29年度事業計画の策定
- 第四号議案 経理規程の改定



新人さん紹介

春は出会いと別れの季節と言われますが私たち「藍」も新人をお迎えしました。新人といっても福祉業務の経験も豊富な即戦力としての入社です。すでに導入研修も受けられ持ち場に着任していますが「藍」に新しい風を送り込んでくれると期待しましょう。

利用者、職員の皆さんに寄り添って働く

Garden 藍 飯田 純也

はじめまして。4月より Garden 藍に配属になりました、飯田純也と申します。宜しくお願いいたします。

私は昨年5月まで世田谷区内で主に相談支援専門員として福祉サービスを利用する方々のケアマネジメントに従事しておりました。その後別の地域でのグループホーム世話人業務を経て現在に至ります。今回ご縁を頂き再びここ世田谷区でお仕事をさせていただく事となり、とても嬉しく思っております。

障害者の方が地域で安心して暮らしていくためにはどんなことが必要なのか、常に自問自答しながらの毎日ですが、当事者の方の思いに丁寧に寄り添いながら頑張っていきたいと思っております。

どうかご指導の程、宜しくお願い申し上げます。



最近高校時代の友人たちと30年ぶりに一杯やる機会がありましたが話題はいつか病気と薬の話になり、俺たちもそんな年になったかと改めて感慨に浸ったものです。

そんな話を会社OBの先輩にしながら「もう僕らは健康第一ですもんね」と言ったところ「ちがうよ三須君。俺たちにはもう健康しかないのだ」と言い切られてしまいました。（三須）